

身近なアプリケーション 概要

目的

HTML や Python を用いて、身近で使いやすい計算アプリを目指し、この活動を通して実際の Web 開発について理解を深める。

計画

- 6月：ポスター作製
- 7月：バックエンドプログラム作成
 - 数式プロット機能作成
 - 平均、モード。標準偏差計算機能作成
 - 簡単な四則演算アプリ開発
 - フロントエンド作成
- 8月：フレームワーク作成
 - DBの実装
- 9月：テストと修正
- 10月：活動報告書作成

調査方法

HTML、CSS、Python を使用して Web アプリの開発を行う。フレームワークは Flask を使用した。

活動経過

- ポスター作製
- 平均計算機能及び数式プロット機能のデモを開発
- フロントエンド開発と同時並行でそれぞれの機能を実装
- 追加機能の実装
- レイアウト調整及び機能の統合
- エラー処理及びテスト
- Googleform 添付
- ポスター作製及び発表
- 報告書作成

成果・結果

今回の活動を通して Web アプリ開発に関する知識を深めることができた。

機能としては大学の講義で学んだ簡単なプログラムで実装できるものばかりだったがフロントエンドからバックエンドまで自分たちで開発したことによってフレームワークやデータベースといった実際アプリ開発における重要な過程を経験することができ、技術力の向上にもつなげることができた。